

令和3（2021）年度
外部評価委員による評価結果
（事業計画）

I. 評価者

所属・役職 一般社団法人京都経済同友会 理事事務局長
氏名 馬屋原 宏

II. 令和3（2021）年度重点目標・重点事業計画の総評

「学生を一人たりとも置き去りにしない」強い方針のもと、コロナ禍の制約のある社会環境の大きな変化に対応するため、これまで培った ITC 整備を活かし、新たな「ハイフレックス型」授業の導入や海外教育機関との連携プログラムなどに取り組んだ。こうした先進的な大学教育のDX化は、本学教育における価値創造の有効な手段であり、本学の更なる価値創造につながると評価する。また、自己点検・評価を核とした内部質保証全体のメカニズムの明示化と実施体制の整備も評価できる。多種多様な産官学連携の取り組みや大学を挙げての認証評価の課題改善活動にも計画的に取り組んでいる。

以上のことから、重点目標（学長方針に対応したミッション、第2期5カ年計画の重要政策、自己点検・評価の結果、全学的課題）の達成に向けた重点事業は計画どおり実行され、その成果が認められる。一方で、ブランディング戦略をはじめとした広報の一層の強化や産官学連携の推進体制の整備、外国人留学生の獲得強化などの課題については、その克服に向け、早急な取組の検討を進めていただきたい。